



様式第10号(第14条関係)

令和5年6月2日

持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井 伸治 様

住 所 鳥取市本町1-201ミュトスビル2階
団体名 特定非営利活動法人鳥の劇場
代表者職・氏名 代表理事 中島諒人(本名:中島誠)

令和4年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 寄附金受入額 令和4年度合計 1,430,400 円
- 2 添付書類
 - (1) 寄附金活用実績報告書<様式第10号の2>
 - (2) 寄附金活用収支決算書<様式第10号の3>



令和4年度寄附金活用実績報告書

事業名	劇場の新施設建設で鹿野町と演劇の魅力を発信したい！－「鳥の劇場」×鹿野町地域活性化プロジェクト
実施期間	令和4年6月10日～令和5年3月31日
事業内容 ※対象者の範囲や人数、実施方法等を具体的に記入。	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥の劇場がバックヤードとして使用している、旧鹿野小学校の建物の老朽化が進み取り壊しが決まっている。鳥の劇場は、地元の方々にご協力いただき、取り壊した跡地に、地域の拠点となる交流スペースを含むバックヤードの建設を計画した。そしてその設計を、アトリエ・ワンに依頼。令和4年の寄付金を活用した事業としては、アトリエ・ワンの進行で、地元の方々とのワークショップを行い、新しい建物に必要とされている機能を確認しながら、設計を勧めもらった。アトリエ・ワンには、実際に現地に足を運んでもらい、地元の方と直接コミュニケーションをとりながら、ワークショップを進行してもらった。 ・上記の事業を実施するための資金集めに、鳥の劇場へのふるさと納税があることを知っていただくため、チラシを作成。劇場に登録されているお客様へ郵送をした。
事業実施の成果・効果 (見込み)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップに参加した関係者から、建築家が直接意見を聞きながら、設計を進める形を取ることができたおかげで、信頼関係が生まれ、かつ、新しい建物への地元の方の期待も高めることができた。工事は、2024年からの実施になるが、2023年は、2022年度に作ったプランをさらにブラッシュアップし、2024年度の新築工事着工に向かう準備を整えることができた。 ・鳥の劇場がバックヤードの建設を行うことを周知するため、チラシを作成し、鳥の劇場のサポーターに送付、また、各所に配布することができ、ニュース番組での報道や、新聞での報道にも結びついた。 ・目標金額には到達しなかったが、新施設建設という事業が行われることの周知は、鳥の劇場に関心がある方に向けては、おおよそできたのではないかと考える。

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、その見込みを記載すること。



様式第10号の3 (第14条関係)

令和4年度寄附金活用収支決算書

【収入】

区分	金額 (円)	内訳
支援寄附金	1,218,400 円	(第1回交付分)
支援寄附金	212,000 円	(第2回交付分)
収入計	1,430,400 円	

【支出】

区分	金額 (円)	内訳
委託費	1,002,000 円	調査設計費・図面作成費・概算算定費
広告宣伝費	143,000 円	日経レディ東京2月号(2023年2月掲載)343,550部 紙面12分の1
印刷費	17,937 円	チラシ印刷代(両面カラー7,000枚)
報償費	44,000 円	チラシデザイン料
通信費	57,016 円	寄附者へチラシ送付郵送料
交通費	36,730 円	建築家航空券代、バス、電車、タクシー代
宿泊費	6,400 円	建築家宿泊代
雑費	220 円	振込手数料
繰越金	123,097 円	繰越金
支出計	1,430,400 円	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。